

# ものづくり探訪

今月は  
株式会社アライドテック

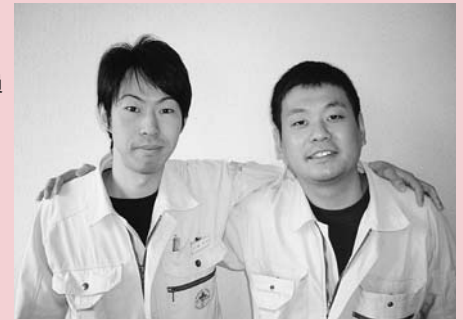


本社工場

産業クラスター創造事業  
さかた技術者ネットワーク構成員

電子部品技術グループ  
田賀 大さん(右)

ヒートシンク技術グループ  
佐藤裕也さん(左)



平成22年6月に設立された「さかた技術者ネットワーク」。市内企業の若手技術者で構成されるメンバーが、企業が持つ優れた技術力や製品を紹介します。

ハイブリッド車や  
携帯電話関連の部品を製造

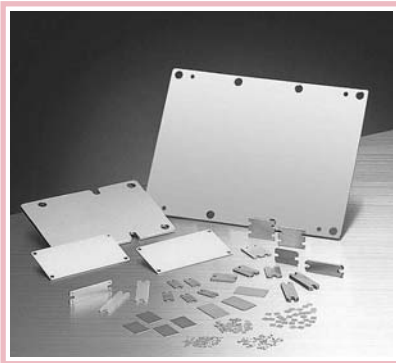
田賀 当社は、1944年に現大浜工場の地で東京タングステン(株)酒田工場からはじまり、東京無機工業(株)、アドバンストマテリアル(株)を経て、2000年に(株)アライドテックとなりました。本社工場は、酒田市十里塚にあります。酒田事業所(第1工場・第2工場・大浜工場)では、主にヒートシンク製品と電子部品製品を製造しています。

佐藤 ヒートシンクは、いわゆる「放熱基板」と呼ばれ、高温で発熱する半導体の熱を逃がす働きをもつ部品です。近年の電子部品の高性能化に伴って、重要性が非常に増してきています。現在は主に、ハイブリッド車や携帯電話基地局の部品として使われています。

レアメタル合金の製造は  
オンリーワンの技術

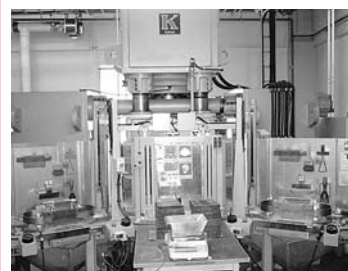
田賀 当社で製造されるヒートシンク材には、放熱性の良い銅と熱膨張が小さく変形しにくいレアメタル(モリブデンまたはタンゲステン)との複合材料「合金」が使われています。レアメタルを粉末の状態から成型し、製品として加工できる企業はほとんど無く、ヒートシンク材の分野では、世界トップシェアを誇っています。

## レアメタル合金の部品ができるまでの工程



主力製品「ヒートシンク各種」

1 レアメタルの粉末を成型。



2 溶融炉で焼き固めます。  
その後、銅を溶かして浸みこませます。



4 めっき仕上げをして、完成。



3 圧延機で板状に延ばし、プレス機で指定形状に打ち抜きます。



### [ 企業の概要 ]

商号：株式会社アライドテック  
住所：十里塚字村東山398・16  
代表者：代表取締役社長  
勝谷 洋  
資本金：4億5千万円  
従業員数：430名(酒田事業所のみ)  
事業内容：ヒートシンク製造  
電子部品製造